

## 2022年9月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月14日  
東

上場会社名 ナレッジスイート株式会社 上場取引所  
 コード番号 3999 URL https://ksj.co.jp  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 稲葉 雄一  
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役執行役員（氏名） 柳沢 貴志 (TEL) 03-5405-8120  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年9月期第1四半期の連結業績（2021年10月1日～2021年12月31日）

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利 益		四半期包括利益合 計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第1四半期	784	40.1	56	—	52	—	33	—	33	—
2021年9月期第1四半期	559	3.0	△78	—	△80	—	△79	—	△79	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第1四半期	6.48	6.43
2021年9月期第1四半期	△15.65	△15.65

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年9月期第1四半期	3,566	940	940	26.4
2021年9月期	3,271	903	903	27.6

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年9月期	—	—	—	—	—
2022年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

## 3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	3,157	25.2	117 ～136	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年9月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。なお、業績予想に関する事項、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年9月期1Q	5,162,300株	2021年9月期	5,161,100株
2022年9月期1Q	143株	2021年9月期	143株
2022年9月期1Q	5,161,570株	2021年9月期1Q	5,105,057株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料はTDnet及び当社ウェブサイト同日開示しています。また、2022年2月24日(木)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日資料する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響による制約が継続しておりますが、ワクチン接種率増加等による感染抑制により経済活動の正常化が進みました。しかし感染力が高い新たな変異株の発生により感染者が増加傾向にあり、依然として経済活動の先行きは不透明な状況となっております。

一方、デジタルトランスフォーメーション（DX）の機運の高まりにより営業のDX化が浸透してきており、当社グループの提供サービスへの需要は高く、追い風と言える市場環境が引き続き継続しているものと認識しております。

このような状況下において、当社グループは「Change The Business～中小企業のビジネスを変え、日本経済の活性化に貢献する～」をパーパスに、「脳力をフル活用できる世界へ。」をビジョンに掲げ、2022年9月期を初年度とする「中期経営計画2024」の達成に向けた成長戦略である「事業収益（シェア）拡大」及び「プロダクト・サービスの強化」を推進してまいりました。

具体的には、企業の売上・生産性向上への貢献を可能にする統合型SFA/CRMクラウドサービス「Knowledge Suite(ナレッジスイート)」を中心とした中堅・中小企業向けSaaSシェア拡大、サブスクリプションビジネス拡大のため、営業100名体制へ向けた採用及び新人育成強化、サービス利用継続を促進するカスタマーサクセス強化を実施してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上収益は784,219千円(前年同期比40.1%増)、営業利益は56,560千円(前年同期は営業損失78,497千円)、税引前四半期利益は52,518千円(前年同期は税引前四半期損失80,882千円)、親会社の所有者に帰属する四半期利益33,453千円(前年同期は親会社の所有者に帰属する四半期損失79,884千円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ① DX事業

当第1四半期連結累計期間においては、販売パートナー共催のオンラインセミナーによる拡販支援、全国の展示会への出展に伴う接客体制の強化を図り、リード（見込み客）の獲得増につながったことで、オンライン、オフライン問わず商談件数が増加し、契約件数（※1）は2,427件（前年同期比25.9%増）となりました。さらに、上位SFAプランの新規受注によるMRR（※2）が増加したことで、ARR（※3）は769百万円（前年同期比37.4%増）となりました。

これらの結果、売上収益は348,113千円(前年同期比70.0%増)、セグメント利益は62,922千円(前年同期はセグメント損失48,043千円)となりました。

※1 契約件数：各四半期末時点のSaaS MRR（OEM及び「InCircle」「B Suite」除く）契約件数

※2 MRR：Monthly Recurring Revenue 月間経常収益

※3 ARR：Annual Recurring Revenue 年次経常収益、各四半期末時点のSaaS MRR（OEM及び「InCircle」「B Suite」除く）の12倍で算出

#### ② BPO事業

当第1四半期連結累計期間においては、IT人材の需要の高まりから派遣先プロジェクトの増員ニーズ、エンジニアの稼働率の増加により売上収益は堅調に増加となりました。

これらの結果、売上収益は436,106千円(前年同期比22.8%増)、セグメント利益は56,389千円(前年同期比10.3%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は1,469,006千円となり、前連結会計年度末に比べ335,346千円増加しました。これは主に、現金及び現金同等物の増加320,819千円、営業債権及びその他の債権の増加16,365千円によ

るものであります。

当第1四半期連結会計期間末の非流動資産は2,097,650千円となり、前連結会計年度末に比べ39,834千円減少しました。これは主に、無形資産の増加74,335千円、その他の金融資産の減少80,857千円、使用権資産の減少31,334千円によるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の資産合計は3,566,656千円となり、前連結会計年度末に比べ295,512千円増加しました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は1,299,512千円となり、前連結会計年度末に比べ36,901千円増加しました。これは主に、有利子負債の増加49,450千円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の非流動負債は1,326,858千円となり、前連結会計年度末に比べ221,664千円増加しました。これは主に、有利子負債の増加245,476千円によるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は2,626,370千円となり、前連結会計年度末に比べ258,566千円増加しました。

#### (資本)

当第1四半期連結会計期間末の資本は940,285千円となり、前連結会計年度末に比べ36,946千円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加33,453千円によるものであります。

これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末に比べ1.3ポイント減少し、26.4%となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年9月期通期の連結業績予想につきましては、2022年11月12日に公表いたしました「中期経営計画2024-事業計画及び成長可能性に関する事項-」のとおり、2022年9月期を初年度とする「中期経営計画2024」の達成に向けて、成長戦略である「事業収益(シェア)拡大」及び「プロダクト・サービスの強化」を推進し、DX事業セグメントの売上収益は1,518百万円(前年同期比54.7%増)、連結売上収益は3,157百万円(前年同期比25.2%増)を計画しております。利益面につきましては、中期経営計画の達成に向けた成長戦略に基づき、コロナ禍における経済動向や事業環境、投資機会を勘案した機動的かつ柔軟な先行投資を継続するため、投資家の皆様に対してより有用かつ合理的な情報提供を行う観点から、レンジ方式による通期業績予想開示を採用しており、営業利益117~136百万円(前連結会計年度は営業損失108百万円)を計画しております。

なお、上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、感染症収束に伴う経済活動の回復に要する期間等の様々な要因によって、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		678,449	999,269
営業債権及びその他の債権		382,269	398,634
棚卸資産		1,054	534
未収法人所得税等		1,430	1,242
その他の流動資産		70,455	69,324
流動資産合計		1,133,659	1,469,006
非流動資産			
有形固定資産		56,238	53,553
使用権資産		300,474	269,140
のれん		725,605	725,605
無形資産		735,015	809,351
その他の金融資産		201,732	120,874
繰延税金資産		118,417	119,124
非流動資産合計		2,137,484	2,097,650
資産合計		3,271,143	3,566,656

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務		164,488	171,854
契約負債		34,957	27,674
有利子負債		749,470	798,920
リース負債		129,368	120,713
未払法人所得税		8,980	19,942
その他の流動負債		175,345	160,407
流動負債合計		1,262,611	1,299,512
非流動負債			
有利子負債		909,880	1,155,357
リース負債		157,247	133,564
引当金		36,498	36,533
繰延税金負債		1,566	1,402
非流動負債合計		1,105,193	1,326,858
負債合計		2,367,804	2,626,370
資本			
資本金		700,501	700,696
資本剰余金		644,937	648,234
利益剰余金		△447,208	△413,754
自己株式		△192	△192
その他の資本の構成要素		5,301	5,301
親会社の所有者に帰属する持分合計		903,339	940,285
資本合計		903,339	940,285
負債及び資本合計		3,271,143	3,566,656

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	559,864	784,219
売上原価	352,839	449,362
売上総利益	207,024	334,856
販売費及び一般管理費	285,102	303,474
その他の収益	136	25,270
その他の費用	556	92
営業利益 (△は損失)	△78,497	56,560
金融費用	2,384	4,041
税引前四半期利益 (△は損失)	△80,882	52,518
法人所得税費用	△998	19,064
四半期利益 (△は損失)	△79,884	33,453
四半期利益 (△は損失) の帰属		
親会社の所有者	△79,884	33,453
四半期利益 (△は損失)	△79,884	33,453
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	△15.65	6.48
希薄化後1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	△15.65	6.43



## (要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益 (△は損失)		△79,884	33,453
その他の包括利益		—	—
四半期包括利益		<u>△79,884</u>	<u>33,453</u>
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		<u>△79,884</u>	<u>33,453</u>
四半期包括利益		<u>△79,884</u>	<u>33,453</u>

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2020年10月1日残高	681,106	647,594	△338,102	△192	2,685	993,091	993,091
四半期利益(△損失)	—	—	△79,884	—	—	△79,884	△79,884
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	△79,884	—	—	△79,884	△79,884
新株の発行	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	1,300	—	—	—	1,300	1,300
所有者との取引額等合計	—	1,300	—	—	—	1,300	1,300
2020年12月31日残高	681,106	648,894	△417,986	△192	2,685	914,507	914,507

当第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2021年10月1日残高	700,501	644,937	△447,208	△192	5,301	903,339	903,339
四半期利益(△損失)	—	—	33,453	—	—	33,453	33,453
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	33,453	—	—	33,453	33,453
新株の発行	195	195	—	—	—	390	390
株式報酬取引	—	3,102	—	—	—	3,102	3,102
所有者との取引額等合計	195	3,297	—	—	—	3,492	3,492
2021年12月31日残高	700,696	648,234	△413,754	△192	5,301	940,285	940,285

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 注記 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△は損失)	△80,882	52,518
減価償却費及び償却費	51,417	62,353
金融費用	2,384	4,041
投資有価証券売却益	—	△20,847
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△320	520
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△57,805	△14,059
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△60,743	7,365
契約負債の増減額 (△は減少)	928	△7,282
その他	△1,360	△11,727
小計	△146,381	72,882
利息の支払額	△2,345	△4,069
法人所得税の支払額	—	△15,612
法人所得税の還付額	2,690	4,728
営業活動によるキャッシュ・フロー	△146,035	57,929
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△27,722	△416
有形固定資産の売却による収入	25,678	—
無形資産の取得による支出	△88,328	△101,259
投資有価証券の売却による収入	—	102,447
その他	—	△752
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,372	19
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	△25,098
長期借入れによる収入	150,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△46,648	△30,083
リース負債の返済による支出	△29,691	△32,337
株式の発行による収入	—	390
財務活動によるキャッシュ・フロー	273,660	262,871
現金及び現金同等物の増減額	37,252	320,819
現金及び現金同等物の期首残高	748,860	678,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	786,112	999,269

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、経営組織の形態、製品・サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約した上で、「DX事業」及び「BPO事業」の2つを報告セグメントとしております。

「DX事業」は、営業活動の可視化、営業活動の自動化を目指す法人向けマルチテナント型クラウドサービスとして開発した統合型営業・マーケティング支援SaaSの開発・販売及び顧客企業のカスタマーサクセスへ導く導入支援サービスを提供することで、中堅・中小企業のDXを支援する事業を展開しております。

「BPO事業」は、主に企業のマーケティング課題・システム課題を解決支援するWEBマーケティング支援、各種システムの受託開発・保守及び顧客企業へのシステムエンジニアリング（IT人材リソース）を提供するビジネスプロセスアウトソーシング事業を展開しております。

## (2) 報告セグメントの収益及び業績に関する情報

報告セグメントの収益及び業績に関する情報は、次のとおりです。

前第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

	(単位：千円)				
	D X 事業	B P O 事業	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	204,757	355,106	559,864	—	559,864
セグメント間の売上収益	285	24,524	24,809	△24,809	—
合計	205,042	379,631	584,674	△24,809	559,864
セグメント利益 (△は損失)	△48,043	51,143	3,100	△81,598	△78,497
金融収益					—
金融費用					2,384
税引前四半期利益 (△は損失)					△80,882

当第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

	(単位：千円)				
	D X 事業	B P O 事業	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	348,113	436,106	784,219	—	784,219
セグメント間の売上収益	1,376	31,739	33,115	△33,115	—
合計	349,489	467,845	817,334	△33,115	784,219
セグメント利益 (△は損失)	62,922	56,389	119,311	△62,751	56,560
金融収益					—
金融費用					4,041
税引前四半期利益 (△は損失)					52,518

(注) 1. セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。

2. セグメント利益 (△は損失) の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。

3. セグメント利益 (△は損失) は、要約四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。